

三股町長のマニフェスト(重点施策事項)の 取組状況【平成25年度】

平成26年9月



プロジェクト	1. 街むら元気わいわいプロジェクト ※町内の集落や地域の絆を取り戻し、元気にする取組を行います。
まちづくり(内容)	①集落にぎやか元気づくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
1	駅周辺の活性化、交流人口の拡大イベント、物産展開催	<p>◎2月11日にみまたん駅開業100周年記念イベントやみまたんよかもん市(物産展)を開催しました。</p> <p>◎駅周辺の活性化・交流人口の拡大イベントとして実施している物産展「駅前よかもん市」は3月末で81回目の開催となり、出展者協賛品の抽選会を行うなど来場者数増加のための取組を行いました。</p> <p>また、12月は餅つき大会、1月はうどんを200食振舞うなど朝市の中でイベントを開催し、大勢の町民らが訪れました。</p> <p>来場者は平均して200名、出店者は平均20店舗となっています。</p>	地域政策室 産業振興課
2	文化会館西側の多目的広場の整備	<p>◎各種イベントの開催や地域住民の憩いの場などの広場として幅広く利用するため、国の都市再生整備計画事業を活用し、平成25年度に前倒し整備しました。</p> <p>用地買収、広場整備A=1.2ha(芝生・園路・暗渠排水・排水路)</p>	地域政策室 都市整備課
3	地域特性に応じた地域づくりの進展	<p>◎駅前の整備については、当初東西三股地区都市再生整備事業で平成26年度に実施する予定であったが国の経済対策の有利な財源を活用し、平成25年度に前倒しで整備しました。</p> <p>◎長田地区はいきいき集落活動として農産物販売を10月まで開催しました。</p>	地域政策室 総務課 都市整備課
4	自治公民館(はめっけ三股地域づくり事業)の支援継続	<p>◎自治公民館活動補助金の地域割額を活用した夏祭り、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、おねっこ、盆踊りなどが実施され、集落のにぎやか元気づくりを支援しました。</p>	教育課

プロジェクト	1. 街むら元気わいわいプロジェクト ※町内の集落や地域の絆を取り戻し、元気にする取組を行います。
まちづくり(内容)	①集落にぎやか元気づくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
5	中心地の空洞化対策	<p>◎みんなで創ろう！みまたん地域づくり推進事業において、駅多目的ホールを活用したサロン活動などを行う地域づくり団体への助成を行いました。</p> <p>◎「キャンドルナイト♥みまた」は駅前改修工事のため町立文化会館前庭で開催されました。</p> <p>◎平成25年度新規事業「ものづくりフェア」の開催にあわせて、よかもんや独自のイベント「しゅしゅぽぽマーケット」を同時開催しました。ものづくりフェア会場から駅前までの案内を行いました。</p> <p>◎三股駅開設100周年記念事業も開催されました。</p>	地域政策室 産業振興課
6	宮村分譲事業の継続、長田地区への支援	<p>◎宮村宅地分譲21区画(眺霧台)については、平成23年4月から販売を開始し、10月には完売しました。これにより21世帯77人(うち子供35人)が新たな町民になりました。</p> <p>◎長田地区過疎対策協議会と相談のうえ町有地に町営住宅1棟を建設。入居条件として、長田小学校・長田へき地保育所に通学・通所する子どもがいることという独自条件を設け、定住促進を図りました。</p> <p>◎過疎地域定住促進奨励金を交付して梶山小学校区、長田小学校区、宮村小学校区内の若い世代の定住に取り組みました。 ※交付件数 41件 交付金額 10,970,000円</p>	地域政策室
7	植木地区の住居表示の見直し	<p>◎公民館役員に対し、見直しの手法、法令手続、見直しに伴う地域住民の負担など実現に向けた課題の説明を行っています。今後も、地元から説明の要請があれば課題を説明し協力を求めることとしています。</p>	地域政策室

プロジェクト	1. 街むら元気わいわいプロジェクト ※町内の集落や地域の絆を取り戻し、元気にする取組を行います。
まちづくり(内容)	②住民主役のまちづくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
8	まちづくり基本条例の制定	◎平成25年6月の施行を受け、6月に職員説明会の開催、啓発のため町公式サイトとパンフレットの作成、2月に講演会を開催しました。	地域政策室
8-1	地区座談会の開催	◎6月から7月までの間に8つの地区で地区座談会を開催しました。町民から提出のあった意見・要望等については、町の考え方を記載した会議録を自治公民館連絡協議会で配布し、町の公式サイトに掲載しました。	地域政策室 全 課
9	支部加入の促進	◎自治公民館連絡協議会や総務課、教育課とも連携しながら加入促進に努めました。 ◎役場窓口で転入・転居手続の際に、自治公民館支部への加入について勧奨しています。	地域政策室 総 務 課
10	各種事業の町民目線(事業評価・検証機関の設置)からの検証	◎三股町在住の有識者や各種団体の代表者で構成する事務事業外部評価委員会を組織し、事務事業の外部評価を実施しました。 評価結果(現行どおり5事業、拡充1事業、見直し2事業)については、平成26年度予算に反映できるよう努めました。	地域政策室

プロジェクト	1. 街むら元気わいわいプロジェクト ※町内の集落や地域の絆を取り戻し、元気にする取組を行います。
まちづくり(内容)	②住民主役のまちづくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
11	行政改革による歳出削減を継続	<p>◎平成25年度以降も中長期的視点に立って歳出削減を継続し、限られた財源の効率的な配分に努め、真に必要な事業には重点的・積極的に取り組みました。</p> <p>【成果例】投資的経費として、近年ではピークとなる約18億7千万円の事業を行う一方、財源としては国の補正予算の財源を活用し、地方債の発行額を当初予定額より8億2千万円減額できました。</p> <p>◎平成25年10月に長期財政計画を作成し、この計画をもとに平成26年度予算編成方針として、消費税増税分を除き</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町単独公共事業は前年当初予算額の80% 2. 物件費については前年当初予算額の97% <p>上記以外は前年当初予算額の範囲内を編成基準とし、地方財政措置等の動向等に十分留意し、簡素合理化と財政の健全性の確保を図るものとなりました。</p>	税務財政課
12	事業内容の見直し・事業評価で新規事業の財源確保	◎平成25年度の新規事業の財源確保は、歳出削減及びスクラップ&ビルドを基本とし、国・県補助事業の積極的な導入を図り、より有利な地方交付税措置のある町債、及び無利子である県の貸付金(起債)を活用しました。	税務財政課
13	住民・NPOの活動支援(民間人材活用)	<p>◎「三股町まちづくり基本条例」(平成25年6月28日施行)第29条で、町役場による活動支援について規定しました。</p> <p>◎「ずっと住みたいまちづくり協働推進事業」や「みんなで創ろう!みまたん地域づくり推進事業」などを実施し、地域づくり団体等の支援を行いました。</p>	地域政策室
14	安心安全なまちづくり(交通安全、消防・防災、救急、防犯の対策づくりと危機管理体制の確立)	<p>◎大規模な災害が発生した時に的確に対応するため、組織横断的な事象を扱う危機管理係を平成24年度から新設しました。</p> <p>◎災害時の迅速な情報伝達手段を確保し安全・安心を守るため老朽化した防災行政無線のデジタル化と補完システムの整備や、防犯灯のLED化を、平成25年度から2か年かけて取り組むこととしました。</p>	総務課
15	治山、治水、利水対策	◎河川機能の保全や砂防施設の機能確保を図るため従来からの事業を継続して実施しました。	産業振興課

プロジェクト	2. 産業いきいきプロジェクト ※農商工の連携で雇用、所得、交流を増やす取組を行います。
まちづくり(内容)	①農商工連携づくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
16	口蹄疫再興支援策の実施、通常の防疫対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ◎口蹄疫等の家畜伝染病の発生に備えて、初動体制に必要な薬剤、機械の確認を定期的実施しました。 ◎消毒の慣習化など農家の家畜防疫の意識向上について、町回覧や各畜産行事の場を使って呼びかけ、配布を行いました。 ◎家畜伝染病発生時における埋却地の検討のため、各農家毎に聞き取り調査を実施し、同時に地質調査を実施しました。 	産業振興課
17	地産地消の推進	◎三股町農畜産物利用地域活性化推進協議会・食育地産地消推進検討部会により『三股町食育・地産地消推進計画』を策定しました。これにより関係者との連携を密にし一体的に取り組むことができました。	産業振興課
18	地域内農産物の消費、加工、付加価値化で雇用・所得の向上	◎町内で開発製造された加工品等の県外販売を行いました。 大阪市（千里中央パル～都城市合同） 福岡市（大丸パサージュ広場～町単独）	産業振興課
19	里芋・馬鈴薯・ほうれん草など各種農産物と地場企業等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◎本町に定着する新たな営農作物であるプチヴェールの栽培および営農について、プチヴェール専門部会により50aの農地を確保しJA・経済連を通じ販売ルートを確保しました。 ◎0.1%が国内産であるごまの産地化に取組み、商工会で主管する「ごまプロジェクト」との連携で商品化を図りました。 ごまは鹿児島県への産油用出荷だけでなく、「みまたんごま」として意匠登録を行い、よかもんやで販売するとともに、ごまを使った料理・スイーツのコンテストを実施し町内飲食店等での販売も実現しました。 	産業振興課

プロジェクト	2. 産業いきいきプロジェクト ※農商工の連携で雇用、所得、交流を増やす取組を行います。
まちづくり(内容)	①農商工連携づくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
20	企業誘致の推進(農用地の見直し検討)	◎現在2社の企業誘致を推進中で、事業用地の確保に向けた相談や調査を行いました。	産業振興課
21	地場企業の支援、農林商工連携の推進→地域資源の活用(農林産物、観光資源、人材)と地場企業との連携	◎九州各地の種々の工芸品を集めた工芸品展示販売会「みまたものづくりフェア～つくりびとのカタチ～」を新規事業として実施しました。工芸者に展示販売の機会を与え、商業者には食のブースを設置し、その食のブースで使用する食材は特産品を用い農業者とも連携できる事業を実施しました。また、農商工の連携に加え、3日間で1万人の来場者があり観光面にも寄与しました。 ◎大阪や福岡での物産販売と観光PRを兼ねた販売イベントを行い、三股町のPRと今後の商談につながる商業観光の連携も図りました。	産業振興課
22	畑地かんがい事業の推進	◎県営事業高才第2地区は、継続して24年度繰越80,000千円(うち町負担は14,600千円)及び25年度事業20,000千円(うち町負担は3,600千円)の事業を実施しました。 ◎宮ノ原第2地区は、25年度新規採択地区として事業費120,000千円(うち町負担は21,960千円)で実施しました。 ◎高才第1地区は、26年度新規採択を目指して、地権者の同意徴収を実施し事業採択申請の手続きを進めました。	産業振興課
23	優良家畜導入事業の推進	◎地元産種雄牛の造成を図るため、JA都城及び都城市との連携による全共プロジェクト(みんなでつくろうスーパー種雄牛)の他に、三股町産種雄牛を造成する「三股町で育む日本一種雄牛造成事業」を実施しました。 ①人工授精推進事業 144頭 ②肥育素牛導入事業 33頭	産業振興課

プロジェクト	2. 産業いきいきプロジェクト ※農商工の連携で雇用、所得、交流を増やす取組を行います。
まちづくり(内容)	②地場産業活性化づくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
24	商工会との連携	◎ふるさとまつり、よかもん朝市、ものづくりフェアなど各種イベント開催しました。 ◎商工会各部会との意見交換会を実施しました。	産業振興課
25	地域通貨(商品券)の発行	◎地元での購入促進や地産地消などの需要喚起を行うために、商工会において抽選券付き大売出事業を行いました。抽選会の景品として商品券を発行し、さらなる消費需要の創出を図りました。 ＜売上効果＞補助券発行 500円×164,760枚＝ 82,380千円 抽選券発行 1,000円× 5,072枚＝ 25,360千円 合計 107,740千円	産業振興課
26	地場産業の活性化促進	◎「地域新産業・雇用創出推進拡充事業」の採択を受け、商品開発を行い活性化促進に繋げました。 意匠登録、先進地視察、新商品開発コンテスト	産業振興課
27	住宅リフォーム事業創設(耐震化や建物の長寿命化支援など)	◎平成23年度から町単独の住宅リフォーム補助事業を創設し実施しています。 平成25年度実績 予算額 8,000,000円 申請件数 67件(うちリフォーム実施67件) 総工事費 60,721,609円 補助額 5,539,000円 実質補助割合 9.12%	都市整備課

プロジェクト	3. 少子高齢化すくすくプロジェクト ※少子高齢社会の進展を踏まえ、こども、高齢者、障害者など社会的弱者の福祉向上を図る取組を行います。
まちづくり(内容)	①子育てにやさしいまちづくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
28	ファミリーサポートセンターのスタート支援	◎平成22年10月に開設したファミリーサポートセンターの啓発を行い、平成26年3月末時点の会員数は「お願い会員177人」、「まかせて会員53人」、「どっちも会員20人」の合計201人となっています。平成25年度の利用実績は231件(昨年度は245件)となっており、今後とも利用促進に努めていきます。	福祉課
29	乳幼児の医療費の無料化継続	◎乳用児医療費(小学校入学前までの医療費)については、利用者一部負担額(1診療あたり外来は3歳未満350円、3歳以上800円、入院350円)を町が全額助成し、医療費の無料化を継続して実施しました。	福祉課
30	保育料の上乗せ支援	◎子育てにやさしいまちづくりを推進するため、保育費の上乗せ支援の継続を行いました。	福祉課
31	子育てにやさしい町の推進	◎町内12ヶ所の児童館等において放課後児童クラブ等を無料で実施しました。また、すべての児童クラブで、土曜日及び長期休業期間中(春・夏・冬休み)に午前8時からの受入れ(有料制2,000円)を実施しました。	福祉課
32	保育園の年次的な改築支援など	◎2年に1園を基本的な考え方として園舎改築を支援しています。平成25年度はみどり保育園の改築が終了しました。	福祉課

プロジェクト	3. 少子高齢化すくすくプロジェクト ※少子高齢社会の進展を踏まえ、子ども、高齢者、障害者など社会的弱者の福祉向上を図る取組を行います。
まちづくり(内容)	②高齢者・障害者いきいき元気タウンづくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
33	公共施設のトイレ洋式化、スロープ・手すりの設置	◎検討部会を設置し部会で公共施設の調査を実施、全く洋式化されていない施設9箇所の全てを和式から洋式に変更し、高齢者や妊婦をはじめ全ての人が利用しやすいように改修しました。その他の施設については、地元の要望や必要性を踏まえ計画的に整備することとしています。	関係課
34	くいまーの利便性向上	◎地域の要望等も取り入れながら運行路線や運行時刻の見直しなど利用促進を図っています。平成25年度は生活支援コースの利用者は増加したものの長田地区の中学生減少などにより利用者数は減少しました。平成25年度の利用者数は19,150人(前年度20,954人)となっています。	総務課
35	気力・体力に恵まれ経験豊富なシニアリーダーを育成し活用(人材バンク、有償ボランティア)	◎町委嘱の各種推進員(食生活改善推進員、健康づくり推進員、母子保健推進員)や公民館主催教室やさつき学園の講師に経験豊富なシニアを活用し、健康づくりや母子保健に関する地区活動などを実施しました。	町民保健課 教育課
36	障がい者の福祉の充実・社会参加の推進	◎障がい者の社会参加推進の協議の場として設立した「三股町自立支援協議会」を中心に、引き続き、障がい者の自立支援を実施しています。	福祉課

プロジェクト	4. スポーツ文化わくわくプロジェクト ※教育文化を育み、心身共に健全な「みまたっ子」を育成し、アスリートの街を目指す取組を行います。
まちづくり(内容)	①アスリートタウンのまちづくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
37	町民皆スポーツの町づくり	◎第6回みまた町民総合スポーツ祭については、体育協会加盟団体やみまたチャレンジ総合クラブと連携を図り、例年実施している14種目に、レクリエーション体験コーナーを追加し実施し、約1,200人の参加がありました。 ◎第13回チャレンジRUN&ウォーキング大会については、RUNの部、ウォーキングの部、地区対抗駅伝を開催し、約330名の参加があり、町民の健康増進と交流を図りました。	教育課
38	総合スポーツ祭の充実発展	◎町民総合スポーツ祭自治公民館対抗ソフトボール競技「みまたんソフトボール大会」は、自治公民館相互の交流を目指し実施しました。梅雨の時期を外し、ブロック別リーグとチャンピオントーナメントを同日に行いました。	教育課
39	総合型スポーツクラブの自立支援	◎総合型スポーツクラブの自立支援の方策として検討を行い、体育施設の指定管理制度の導入は行わず、平成26年度からクラブの運営を教育委員会事務局が直接行うこととなりました。	教育課
40	ふれあい中央広場の計画策定・整備	◎各種イベントの開催や地域住民の憩いの場などの広場として幅広く利用するため、国の都市再生整備計画事業を活用し、平成25年度に前倒し整備しました。 用地買収、広場整備A=1.2ha（芝生・園路・暗渠排水・排水路）	都市整備課
41	弓道場の改築	◎平成23年度に三股中学校西側に射場10人立ちの木造の新弓道場が完成しました。新弓道場は、南九州でも有数の広さを誇る近代的な施設となっています。平成25年度は、弓道場の巻藁室、看的版の修理を行いました。	教育課
42	スポーツ施設の計画的整備	◎「アスリートタウンみまた」の更なる推進を目指し、スポーツ・体育施設を計画的に整備していくために、中長期的な整備計画となる「三股町アグレッシブタウン基本構想」を策定しました。 ◎旭ヶ丘運動公園クロスカントリーコースの維持補修を行うとともに、トラックの整備方法について庁内関係課と協議を行いました。	地域政策室 教育課

プロジェクト	4. スポーツ文化わくわくプロジェクト ※教育文化を育み、心身共に健全な「みまたっ子」を育成し、アスリートの街を目指す取組を行います。
まちづくり(内容)	②文教のまち三股づくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
43	文教のみまたの更なる推進	<p>◎平成22年に制定された三股町児童生徒憲章をもとに、中学校が1校という本町の特性を生かし、小中一貫教育で、出会った人には挨拶を徹底すること、登下校時は校門で礼をすること、授業の始まりには黙想座礼をすること、無言清掃をすること、郷土三股について学習をすることなどを毎日の学校生活に取り入れています。</p> <p>◎教育の情報化への取り組みについては、実物投影機を各小学校に半分導入したため、その利用状況についての聞き取りを行い、全教室への導入に向けた準備を進めていきます。</p> <p>また、校務支援ソフトを11月に導入し、全校で指導要録や通知票等の電子化が実現しました。</p>	教育課
44	ふるさと学習・歴史教育の推進	<p>◎三股郷土史研究会と協力して『三股町史 改訂版』の読み込み及び問題点の抽出、三股町に係る『庄内地理志』の読み込み・研究、『樺山家文書』(鹿児島県史料集)の読み込み、考察を実施しました。新しい『三股町史』の基礎資料とすべき新しい観点が見出されました。</p>	教育課
45	複式学級補助教員配置の継続	<p>◎長田小学校に3人、梶山小学校に1人の計4人の常勤講師を町独自に配置することにより複式学級を解消し、発達段階に応じたきめ細やかな指導を行いました。</p>	教育課
46	図書館の充実	<p>◎一般図書2100冊、児童図書1000冊を整備し、図書の充実を図りました。ボランティアグループの作成した作品を館内で展示したり、町内のボランティアグループや他館のグループとの意見交換を行い、読書の推進を図りました。</p>	教育課

プロジェクト	4. スポーツ文化わくわくプロジェクト ※教育文化を育み、心身共に健全な「みまたっ子」を育成し、アスリートの街を目指す取組を行います。
まちづくり(内容)	②文教のまち三股づくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
47	大学との連携	<p>◎都城・三股広域行政推進協議会事業で町民講座として南九州大学と連携して「エバーグリーンセミナー」を開催しました(夏休み昆虫講座、ミニチュアガーデンづくり講座)。</p> <p>◎都市計画審議会や事務事業外部評価の委員として、南九州大学の教授に委嘱を行い、有識者の視点から審議を行っていただきました。</p>	地域政策室 都市整備課
48	文化芸能の振興	<p>◎文化の祭典ほか町民・団体参加事業を実施しました。また参加創造型として「まちドラ!」も実施しました。全国レベルと評価される基本理念「思い育み 知の創造」に基づく確実かつ丁寧な継続と創造系事業の連携を基に、住民参加と同時に特徴ある事業群で知名度向上と九州のリーディングシアターたるステータスを生み出しています。公演型にあっては幅広いジャンルでの上演を行いました。</p> <p>◎郷土芸能保存会と文化協会には活動費の一部助成を行い、積極的な活動が展開され文化芸能の振興が図られました。</p>	教 育 課

プロジェクト	5. エコクリーンさわやかプロジェクト ※環境の世紀と言われる21世紀のテーマ、ゴミ問題や下水道に関する取組を行います。
まちづくり(内容)	①協働・共汗のまちづくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
49	新清掃工場に建設の伴い、循環型社会の形成(4R→リデュース・ゴミとなるものを断る、リデュース・排出抑制、リユース・再利用、リサイクル・再生利用)に取り組み、ゴミの分別、家庭用ゴミの再成率アップ及び生ゴミ減量化運動の展開	◎ゴミの排出抑制や再生利用など循環型社会の形成に向けて、剪定くずなどの堆肥化による減量化、EM活性液の無料配布、ゴミへらし隊通信による啓発活動により減量の取組を推進しました。 ◎平成25年度は、288トンの剪定くずや刈草を最終処分場で受け入れました。剪定くずにEM菌や牛の堆肥・鶏糞を混ぜて堆肥化実験を行いました。	環境水道課
50	有料ゴミ袋の検討	◎ゴミ袋の有料化については、引き続き、検討することとします。	環境水道課
51	マイバックの推進	◎ふるさと祭りでマイバックを無料配布するなどの推進を行いました。	環境水道課
52	太陽光発電設置事業の創設	◎省エネルギーで環境負荷の少ない庁舎環境を目指し、役場庁舎屋上に太陽光発電設備(30kW)を設置しました(工事完了は平成26年5月)。 ◎町有施設の屋根貸し事業を検討を行いましたが、安全性の確保や利用上の制約、各種のリスク負担があることから、屋根貸し事業の実施には至りませんでした。 ◎新エネルギーによる発電の推進に向けて太陽光発電設備を設置する家庭に対し補助金を交付しました。 ※補助金交付実績: 98件 補助金総額4,900,000円(50,000円/1件×98件)	総務課 地域政策室 環境水道課

プロジェクト	5. エコクリーンさわやかプロジェクト ※環境の世紀と言われる21世紀のテーマ、ゴミ問題や下水道に関する取組を行います。
まちづくり(内容)	②環境基本条例で創るまちづくり

NO	項目(取組内容)	平成25年度の実施状況	担当課
53	21世紀は環境の世紀、環境行政の基本となる環境基本条例を制定し、各主体(町、町民、事業者)の責務を明確化し、自然豊かで快適な環境の創出	<p>◎環境基本条例は、平成24年6月議会で可決し、同年7月から施行しました。</p> <p>◎上記条例を実行するための環境基本計画の策定に向け、協議や検討を行いました。</p>	環境水道課
54	公共下水道事業の加入率アップ(21年度接続率26.9%、目標45%)し、一般会計からの繰出金の削減	<p>◎接続率の向上のため、平成25年3月末で受益者負担金免除制度の適用期限が満了となる世帯に対し個別相談会を実施しました。</p> <p>◎職員による個別訪問を実施し、接続の推進を図りました。</p> <p>◎指定業者に対し説明会を実施し、住民からの相談や見積依頼に対応できるサービス体制を整えました。</p> <p>◎平成25年度末の下水道接続率は約50%となり、推進の効果が現れました。</p> <p>◎接続件数を伸ばし使用料収入を増やすことで、繰出金の削減に努めました。</p> <p>◎公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業整備区域を除く地域では、河川の浄化と衛生的な環境づくりのために補助金を交付するなどして合併浄化槽の整備を推進しました。</p> <p>※補助金交付実績：合併浄化槽142基 補助金総額33,788,000円 (内訳：5人槽121基・6～7人槽17基・8～10人槽2基・11人槽以上2基)</p>	環境水道課